

2024 年 3 月 28 日

日研メガソーラーによるCO₂削減により、日研工作所が 「おおさか気候変動対策賞」特別賞を受賞



株式会社日研工作所（本社：大阪府大東市／代表取締役社長 長濱明治、以下「当社」）は、大阪府が選出する「おおさか気候変動対策賞」緩和分野において、特別賞を受賞いたしましたのでお知らせさせていただきます。

当社では、電気の使用量を“減らす”という視点だけではなく、太陽光発電で電気を“創る”という視点にもフォーカスし、本社敷地内の主要工場 2 棟の屋根上に総面積 2 万平方メートル・パネル容量 1.92メガワットの太陽光自家発電施設「日研メガソーラー」を敷設。さらに、蓄電池の導入も組み合わせることで、BCP対策だけでなく、日中の電気の使用ピーク時にあわせて放電することにより最大使用電力を抑制するなど、温室効果ガスの排出量の削減に関する一連の取り組みについて、高く評価いただきました。

■「日研メガソーラー」について

- ・ 太陽光パネル容量 ： 1.92MW （1,920kW）
- ・ 年間自家消費量 ： 1,972MWh （1,972,000kWh）
- ・ 年間CO₂排出量削減効果 ： 約 20%

■大阪府気候変動対策事業活動表彰制度「おおさか気候変動対策賞」について

大阪府内の事業活動における気候変動の緩和、及び気候変動への適応、並びに電気の需要の最適化、又は建築物の環境配慮に関して、大阪府が、他の模範となる特に優れた取り組みをした者を「おおさか気候変動対策賞」として表彰し、事業者等の名称とその内容を広く公表することによって、事業者等の意欲を高めるとともに、気候変動対策、及びヒートアイランド現象の緩和対策の普及促進を図る制度です。

令和 5 年度 おおさか気候変動対策賞表彰式：2024 年 3 月 21 日



後列右端：当社専務取締役 三角 進

<背景>

政府は気候変動問題への対応として、2020 年 10 月に「2050 年カーボンニュートラル」を宣言しました。また 2021 年 4 月には、2030 年度の新たな温室効果ガス排出量削減目標として、2013 年度比 46%削減を掲げています。

当社は自家消費型太陽光発電設備導入により、大幅なCO₂ 排出量削減効果が期待でき、環境負荷の低減を行うことが可能となりました。

■ 着工 ： 2021 年 10 月

■ 完成 ： 2022 年 1 月

<BCP 対策：蓄電設備概要>

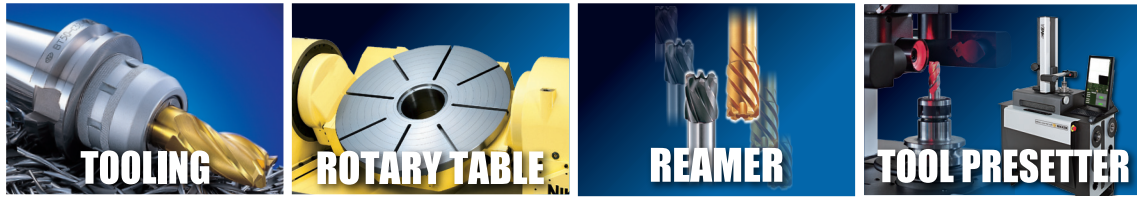
地球規模での温暖化の影響などもあり、近年では特に大型の自然災害が頻発しています。長期停電も多数発生しており、企業においても BCP 対策は欠かせない事案となっています。

今回の太陽光発電設備には、蓄電池（容量：153.6kWh）を併設し、停電時にも一定の電力供給を行うことが可能となっています。

* 地域最大規模

当社本社工場は大東市役所から直線距離で2km以内という市街化区域に位置しており、1.920MW の発電能力は大阪府大東市では最大規模となります。守口市・枚方市・寝屋川市・門真市・四條畷市・交野市などを含めた旧北河内地域でも、大阪府が運営する「大阪府渚水みらいセンター太陽光発電プラント（発電最大電力：1.5MW）」と同等規模となります。

■ 株式会社日研工作所について



日研工作所は、1958年の創業以来、航空機産業、自動車産業から超精密機械工業にいたるあらゆるシーンで活躍している、工作機械用アタッチメント及び切削工具メーカーです。素材加工から超精密仕上加工に至るまで、一貫生産体制を誇り、国内はもとより、海外の工業界にも広く貢献し、その評価は絶大なものと確信しています。ヒューマンウェア溢れる集団として“日々研究を重ねる”姿勢をモットーに、本物のモノ作りに取り組んでいます。

■ 株式会社日研工作所：SDGs への取り組み



地球温暖化問題の真只中であって、持続可能な開発目標を支援し、エネルギー効率が高く、合理的な機械加工ツールを提案・提供していく。それこそが、私たち日研工作所に与えられた使命だと考え、2009年より“Machining Eco”、すなわち「機械加工における省エネの推進」を掲げ、様々なユーザーに生産合理化の提案を続けて参りました。

今日、国連が全世界に向け問題提起した SDGs は、前述の“Machining Eco”に象徴される当社の使命を、あらゆる産業に適用可能な目標に昇華したものと考えております。日研工作所では2020年、企業としての社会的責任を果たすため、「使い捨てないツーリング」のメッセージと共に、ツーリングの長寿命化を図りつつ、使用期間の長期化をもたらすメンテナンスサービス事業「日研ツールクリニック」も立ち上げています。



株式会社日研工作所は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

【報道関係者様：お問合せ先】

株式会社日研工作所 総務部 片渕

住 所：大阪府大東市南新田1丁目5-1

電 話：072-869-5810(代)

e-Mail：katafuchi@nikken-kosakusho.co.jp

H P：https://www.nikken-kosakusho.co.jp